

福島空港・あぶくま南道路整備事業（7・8工区）

受賞機関 福島県あぶくま高原自動車道建設事務所

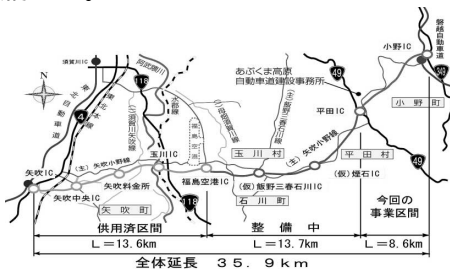
はじめに

「あぶくま高原道路」(地域高規格道路「福島空港・あぶくま南道路」)は、東北自動車道矢吹ICと磐越自動車道小野ICを結ぶ延長約36kmの自動車専用道路であり、高速交通ネットワークを形づくることにより、県内の中通り地方と浜通り地方とを結ぶ交通網の強化と、災害時の代替路線確保や救急医療体制の支援による住民福祉の増進、さらには福島空港の利用促進を支援するなど、さまざまな整備効果が期待される道路である。



あぶくま高原道路位置図

本道路は「道路と自然の共生」を目的に、地域の特色、持ち味、地元の資源を生かした緑化活動を行っており、その一環として今回工事区間の平田IC及び小野ICでは、植栽計画から維持管理計画まで、景観検討委員会及びワークショップに地域住民が参加して検討した。



平成16年11月25日開通した今回の事業区間

事業の概要・成果

平田・小野の両ICはそれぞれの玄関口として位置づけられることから、植栽計画について地域住民参加による、検討委員会及びワークショップを開催し、植栽レイアウトや景観検討から樹種選定を行い、植栽管理への参加等の検討が行われた。検討会では植

栽の維持管理について、住民参加で実施するための安全対策等の意見も出され、住民参加を実現させるため、植栽法面に小段や花壇を設け県内産間伐材により階段・転落防止柵を設置した。また、IC内部に安全に進入できるように、管理用通路も設置された。



平田ICの景観検討ワークショップの様子

この検討会をきっかけに両ICでは愛護会が設立され、平田ICでは工事完成に合わせて植樹祭を実施し、愛護会の代表や平成16年の新成人による記念植樹も行われ、平田ICへの愛着と愛護活動への積極参加を促している。また、小野ICには小野町の花である「キリシマツツジ」7,500本が愛護会員によって植栽され、愛護活動の拠点となっている。両ICの愛護会は、「うつくしまの道・サポート制度」を活用した愛護活動を支援する協定を締結し、未永く植栽管理を行うことになった。



地元愛護会の活動拠点となっている小野IC

おわりに

愛護会は様々な職業の方々に構成されており、その活動は、植栽の維持管理だけでなく、本事業をとおしてIC周辺の利活用計画の提案や、地域イベント等への参加など、地域づくりへと広がっている。住民とともに考えともにつくる、そして、ともに育むことが重要である。